

中学生のみなさんにすすめるブックリスト

本の題名	書いた人	出版社	お話の内容
風をつむぐ少年	ポール・フライシュマン／著 片岡しのぶ／訳	あすなろ書房	交通死亡事故という重いテーマを、17才の加害者の視点から、描き、傷ついた魂が、再生していく姿を描いている。
どろぼうの神さま	コルネーリア・フンケ／著 細井直子／訳	WAVE出版	大人なんかに頼らずに生きていきたい。そんな願いを叶えてくれる”どろぼうの神様”と子どもたちの物語。
サリーの帰る家	エリザベス・オハラ／作 もりうちすみこ／訳	さ・え・ら書房	読書が好きで、夢見がちなサリー。遠く離れた農場で働くようになり、思いやりある一人前の娘に成長していく物語。
リバウンド	E.ウォルターズ／作 小梨直／訳	福音館書店	ショーンと車いすに乗った転校生デーヴィッド。バスケットボールが好きな二人が乗り越えるものは…。
天山の巫女ソニン	菅野雪虫／作	講談社	<夢見>を行える巫女だけが住む天山で育ったソニン。里に返され、慣れない生活の中、困難に懸命に立ち向かう。
園芸少年	魚住直子／著	講談社	偶然に出会った少年たち。ひょんなことから園芸部で活躍することに…。彼らはどんな花を咲かせるのだろうか？
光のうつしえ	朽木祥／作	講談社	知っているようで知らない「あの日」。ヒロシマは、何を奪い、何を残したのか。灯籠が映す、様々な思い。
明日につづくリズム	八東澄子／[著]	ポプラ社	瀬戸内海に浮かぶ因島に暮らす中学3年生の千波が、進路や家族、友情に悩み、迷う姿を生き生きと描く。
夕暮れのマグノリア	安東みきえ／作	講談社	夕暮れのほんのいつとき現れる不思議な出来事に出合うたび、灯子は一つずつ大切なものに気づいていく。
イクバルの闘い -世界一勇氣ある少年-	フランチェスコ・ダダモ／作 荒瀬ゆみこ／訳	鈴木出版	知っていますか？今も、じゅうたん工場で、朝から晩まで奴隷のように働かされる子どもたちのことを。
武器より一冊の本をください -少女マララ・ユスフザイの祈り-	ヴィヴィアナ・マツツァ／著 横山千里／訳	金の星社	「女性というだけで学校で勉強する機会を奪われたくない」と訴えた少女マララは、タリバンに銃撃された。
おれたち戦国ロボサッカー部!	奈雅月ありす／作	ポプラ社	織田信長命の中学2年生ノブオは、いやいや転校した三河の中学校で、ロボットサッカー部に入部することに…。
未来のおとなへ語る わたしが冒険について語るなら	三浦雄一郎／著	ポプラ社	だれもやることがないこと、それが冒険。アドベンチャー・スキーヤーの第一人者であり、2003年に世界最高齢エベレスト登頂記録(70歳7ヶ月)を樹立した三浦洋一郎が語る挑戦のすすめ。
すごい虫のを見つけかた	海野和男／写真・文	草思社	昆虫写真の巨匠が、昆虫の視点で撮影した40点余りの写真に説明を加えた、躍動感あふれるオールカラーの写真集。
夢をつかむイチロー262のメッセージ	『夢をつかむイチロー262のメッセージ』編集委員会／著	ぴあ	何のために、何をすべきなのか。モンスター級ともいえる巨大なプレッシャーに立ち向かう続けているイチロー選手からの262のメッセージ。
江戸小ばなし 子どもも、おとなも楽しめる 1~5	岡本和明／文	フレーベル館	絵で読む江戸小ばなし。これで落語が、100倍おもしろくなる。
なによりも大切なこと 心の友たち	あさのあつこ／著	PHP研究所	10代の揺れる思い、強い気持ち、ドキドキする言葉が書かれたあさのあつこさんのエッセイ。10代の揺れる心を包むおまじりのような本。
チェラブ 英国情報局秘密組織 Mission1~10	ロバート・マカモア／作 大澤晶／訳	ほるぷ出版	CHERUB(チェラブ)とは、子供のスパイ機関。大人では果たせないようなミッションを果たす、英国情報局の裏の組織である。チェラブで活躍するスパイは、皆17歳以下。危険な任務が、今、始まる。
「自分の木」の下で	大江健三郎／著	朝日新聞社	ノーベル賞作家が若い読者のために書いた人生論。「なぜ学校へいくのか」「どうして生きてきたのか」を自分の体験からわかりやすく語る。
鈴の鳴る道	星野富弘／著	偕成社	口にくわえた筆から、心にしみる詩と絵が生まれた。
職業外伝	秋山真志／著	ポプラ社	絶滅寸前の職業の数々を、それを愛してやまない達人達の生き様を織り交ぜて紹介する”ハローワーク外伝”
しゃべる詩あそぶ詩きこえる詩	はせみつこ／編	富山房	思わず体が踊り出し、言葉が詩になっていく。不思議な魔法にかからぬようにご用心を。
夜のピクニック	恩田陸／著	新潮社	全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという、北高の伝統行事「歩行祭」。貴子は小さな賭をすることにした。
アーモンド入りチョコレートのワルツ	森絵都／作	講談社	3つのピアノ曲からうまれた物語のワルツ。優しい心をきゅんとさせる、とっておきの短編集。
一瞬の風になれ 1~3	佐藤多佳子／著	講談社	春野台高校の陸上部を舞台にした青春小説。真二と蓮の二人がひたすら走りながら、成長していく。
空色勾玉	荻原規子／作	徳間書店	神々がまだ地上を歩いていた古代日本を舞台としたファンタジー。「勾玉」シリーズ3部作の第1弾。
ぼくのお姉さん	丘修三／著	偕成社	生きているって楽しいこと。でも、人にはいろいろな苦しみや悲しみがあるもの。他人の苦しみや悲しみが分かる人間になれる一冊。
杉原千蔵物語 命のビザをありがとう	杉原幸子／著 杉原弘樹／著	金の星社	第二次世界大戦が迫る中、ナチスの迫害を逃れてきた人たちに、愛と勇気を持ってビザを渡し続けた一外交官の物語。
父の詫び状	向田邦子／著	文藝春秋	怒りっぽくてわがままな父親の本当の素顔に触れてみよう。
マザー・テレサ -あふれる愛-	沖守弘／著	講談社	貧しい人々の中でも、最も貧しい人々のために尽くすマザー・テレサの生き方。
穴 HOLES	ルイス・サッカー／作	講談社	無実の罪で矯正キャンプに放りこまれたスタンリー。友情とプライドをかけ、穴の向こうへ踏み出した。
木を植えた男	ジャン・ジオノ／著	あすなろ書房	自分の利益を考えず、ひたすらたった一人で森をよみがえらせたブルフィエの半生。
千の風になって	原詩・作者不明 新井満／日本語詩	講談社	「死ぬこと」で失われるものは、本当はないのかもしれない。この本は、そんなことを考えさせてくれる。